美術　指導略案

１　教科・単元　　美術（対話による鑑賞）

２　日時　　9月1７日（火）１限

３　場所　　２階　美術室

４　生徒　　中学部３年生（３名）

５　指導者　　神田（主担）、屋富祖T

６　ねらい　　自分の感じたことを発表し、友だちからの意見を聞き、作品や制作について理解を深める。

７　材料　　陶芸作品、ワークシート、トレイ、キャンドル、マッチ、タイマー。

８　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 留意点 | 備考 |
| 9:50  9:55  10:２５  10:35 | ・挨拶  ・前回の振り返りと本時の学習説明  ・対話による鑑賞開始  ・触察時に発見したことを発表する。発表を聞きながら鑑賞者は作品に触れる。  ・キャンドルをともして鑑賞する。  ・今回の制作や作品についての振り返りを順番に発表する。  ・ふり返り  ・挨拶 | 前回のワークシートの振り返りを行う。  ・発表者が触察で発見したことを発表するとき、作品を非発表者の前に置き、交互に触って確かめる。  ・キャンドルに火をともした後、灯りを落とし暗くして鑑賞する。順番に一言ずつ感想を言う（自然に言葉が出てきた場合は流れに任せる）。  ・発表者に注目し、内容に耳を傾けるように生徒を促す。  ・１人７分決め、アラームで制限時間を知らせる。  ・昨年の陶芸制作と比較してどうであったかも尋ねる。 | ・ワークシート  ・陶芸作品  ・マッチ  ・タイマー |
|  |  |  |  |